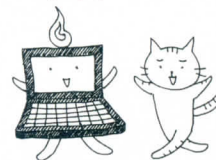




波多利朗の Funky Goods

番外編

「素性が怪しい」「知名度が低い」などの条件
をすべて満たす謎パ〜機を発見……



カルトでヘビーな台湾製(?) マシンを譲ってもらった!

読者の皆さんは、「謎パ〜機」という言葉を耳にして、真っ先にどの機種を思い浮かべるであろうか? 筆者の場合、やはり Poqet PC や PTV-30、ME-386 あたりが、最も「謎パ〜機」らしい機種だと考えている。

謎パ〜機の条件としては、「素性が怪しいもの」「知名度が低いもの」などが思いつくが、このほど究極の謎パ〜機ともいえる製品を手に入れたので、簡単にご紹介しておくことにしよう。

まさに「究極の謎パ〜」「謎パ〜のなかの謎パ〜」「ハイパー謎パ〜」「超謎パ〜」「謎パ〜・キング」「キング・オブ・謎パ〜」といった諸々の表現がぴったりのこのマシン、まず入手したいきさつから述べることにする。

インターネット上の 「謎パ〜研究所」に紹介された 「メーカー名不詳」の機種

筆者がこの「究極の謎パ〜機」の存在を知ったのは、アメリカ在住の「謎パ〜の研究家」永沢雄仁氏のホームページ「謎パ〜研究所」を見ていたときだった。

同氏のホームページには、ATARI Portfolioをはじめとして、古今東西のさまざま

な謎パ〜機が章建てで紹介されているが、そのなかに「第4節:知られざる台湾製マシン(1992)」という項目がある。ここに、いままで目にしたこともない正真正銘の「謎パ〜機」が紹介されていたのである(写真1)。

同氏が ebay というオンラインオークションで、10数人を相手に100ドルで競り落としたというこのマシン、素性も不明ならメーカー名も不明といった、かなりカルトでヘビーな機種であり、当然筆者もまだお目にかかったことがない。その後、同氏がこのパームトップ機を売却するというので、希望を出して購入したというわけである。

なお、氏のホームページのURLは下記のとおりである。

<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-PaloAlto/2960/>

ME-386 と同サイズで タッチタイピングが可能な 79 キー・キーボード

さて、届いたマシンを見てびっくり! 確かにこれはいまだに見たことがないタイプである。マシンの大きさは、ME-386 や PS-3000 といった機種とほぼ同じ

で、タッチタイピング可能な79キーのキーボードを搭載している(写真2)。

メーカー名の記載はなく、マシンの上部に「POCKET PC」のロゴが入っている。「Poqet PC」ではなく、「POCKET PC」であるところがミソだ。LCDの化粧パネルには、「SUPERMINIPOCKETPERSONAL COMPUTER」という表示がある。

本体底面には通常ならばシリアル番号などのシールが添付されているが、このマシンにはそういったものが一切ない。その代わり底面には、Made in TAIWAN R.O.C との刻印が見られるため、この製品が台湾製であることがかろうじて判別できる。

●搭載 OS は、なんと DR DOS Ver.6.0

キータッチは多少ひっかかるような感じで、若干押しづらい。このことから、Tidalwave社の製品かとも思われるが、なにぶん究極の謎パ〜機であるからして、はっきりしたことはわからない。使用しているCPUは、80C88のようである。CPUのクロック周波数は、Fast(7.16MHz)とSlow(4.77MHz)に切り換え可能だ。

PCMCIA スロットは、Type I が1基搭載されている。マニュアルによると、このPCMCIAスロットには、下記のカードが使用可能と記されている。

- ・SRAM メモリカード(容量16MBまでのもの)
- ・ROM メモリカード(容量16MBまでのもの)
- ・FLASH ROM メモリカード(容量16MBまでのもの:読み出しのみ可能)

シリアル、パラレルコネクタは標準のものが搭載されており、この点は使いやすい。FDD ユニットも付属しているが、これがまた本体とほとんど同じくらいの大きさがあり、とてつもなくデカイ。



写真1 これが究極の謎パ〜機

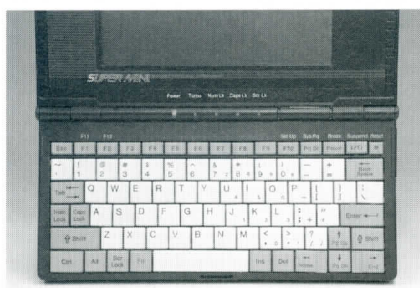


写真2 どうやら台湾製らしい(?)キーボード



FDDユニットは、単三乾電池4本もしくはACアダプタで駆動する。本体に実装されているFDDコネクタは独自仕様となっており、付属の専用ケーブルを用いてFDDユニットに接続する。

搭載されているOSはDigital Research社のDRDOS Ver.6.0であり、思わず「シブイ!」と唸ってしまった。

●電池の取り出しには、死ぬほど苦労する

バッテリーは、メインに単三乾電池を4本直列に使用し、サブにCR2025を使用する。このメイン電池がまたクセモノで、いったん入ると、一番奥に入った電池を取り出すのにひどく苦労するハメになる。

永沢氏がオークションで競り落としたとき、前のオーナーが「乾電池は入れておいてあげたから」と言ったため、親切な人だと思ったそうだが、あとでその意図がわかったというわけである。きっと、前のオーナーも電池の取り出しに死ぬほど苦労していたのだろう。

まだ届いたばかりで、解析を開始していないが、かなり特殊な仕様となっているため、日本語化は苦労しうるのである。まあ、最終的にはPEDを突っ込んでオシマイという手も考えられるが……。

以下に、本マシンのスペックを示す。

- ・モデル名称：SUPER MINI POCKET PERSONAL COMPUTER
- ・メーカー：不明(台湾製)
- ・CPU：80C88(?) (7.16 / 4.77 MHz)
- ・搭載メモリ容量：ROM＝不明、RAM＝640KB
- ・ディスプレイ：白黒液晶640×200ドット CGA(アクティブエリア：147mm×60mm)
- ・キーボード：QWERTY79キー・キーボード
- ・I/Oポート：シリアルポート(標準コネクタ使用)×1、パラレルポート(標準コネクタ使用)×1、外付けFDD接続ポート(専用仕様コネクタ)
- ・バッテリー：メインバッテリー＝単三乾電池4本、サブバッテリー＝リチウムボタン電池(CR-2025)1個
- ・PCMCIA：PCMCIA Type I 1基実装
- ・サイズ：236(W)×115(D)×30(H)mm

・OS：Digital Research, Inc. DR DOS Ver.6.0

・内蔵ソフトウェア：Personal Assistants Ver.1.11

・付属品：シリアルケーブル1本、FDDケーブル1本、外付けFDDドライブ、ACアダプタ2個(本体用とFDD用) 5V仕様

謎パ〜関連の貴重なデータベース 国内のWebサイトも見てネ

最近、国内のWebサイトでも謎パ〜機を取り上げるところが多くなってきた。ものが謎パ〜機だけに、いずれも個性的なページで大変面白いし、謎パ〜関連の貴重なデータベースにもなっている。

以下に、筆者が頻繁に巡回するサイトをご紹介します。

●永沢雄仁氏「謎パ〜研究所」(画面1)

<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-PaloAlto/2960/>

謎パ〜機について、章建てで体系的に紹介しているサイト。掲載されている謎パ〜機には、ATARI Portfolio、Zeos Pocket PCをはじめ、今回概要をご紹介した「究極の謎パ〜機」などディープな製品も多

い。「Psion 5日本のユーザー用FAQ Ver.2.0 HTML版」も掲載されている。

●とし氏「としのホームページ」(画面2)

<http://www.fastnet.ne.jp/~tosihara/>

スモコン・コレクションには、ME-386やSHARP PC-3000などの謎パ〜機が紹介されている。パームトップ機のみならず、サブノート/ミニノートの製品紹介もある。圧巻は「謎パ〜一覧表」で、ここではいままでは発売された(ほとんどすべての)謎パ〜機の概要を見ることができる。

●ゆき氏「ゆきの研究室」(画面3)

http://www.sannet.ne.jp/userpage/yk_kawa/

Lexicom LC-8620について徹底的に解析した「謎パ〜機 Lexicom LC-8620活用研究」は、同型機を使い倒すうえでの貴重な情報源となっている。初級編、中級編、上級編に分かれており、上級編ではROMの交換、RAMの増設などマニアックな改造事例まで紹介されている。

ゆきさんは、LC-8620を使用するうえで有用なソフトウェアも制作しており、それらもダウンロードできる。



画面1
「謎パ〜研究所」の
トップページ



●外狩研一氏「外狩研一's home-page」
(画面4)

<http://www.japan-net.ne.jp/~kenichi/test.htm>

Poquet PC や GEOFOX One PS-3000 などの謎パー機が紹介されている。各マシンの解説文がユニークで面白い。HP200 LXや Cassiopeia A-51、シャープザウルスなども掲載されている。また、HP200LX

に Newton Keyboard を接続する方法も紹介されている。

●森田祐二氏「Garage Morita Poquet PC」(画面5)

http://www2b.biglobe.ne.jp/~g_morita/poquet/

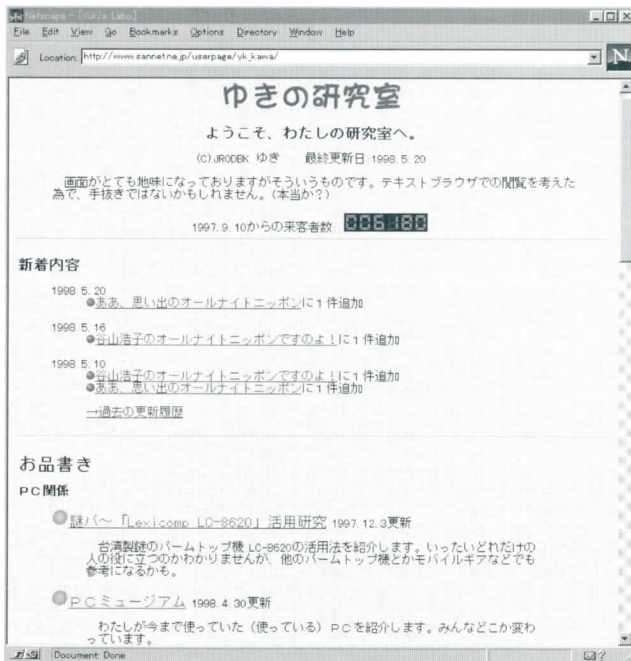
謎パー機 Poquet PC について、マシンの紹介から日本語化、動作するソフトウェ

アなど、さまざまな情報をまとめたページ。Poquet PC FAQは、このマシンを使い込むうえで有用な情報が掲載されている。

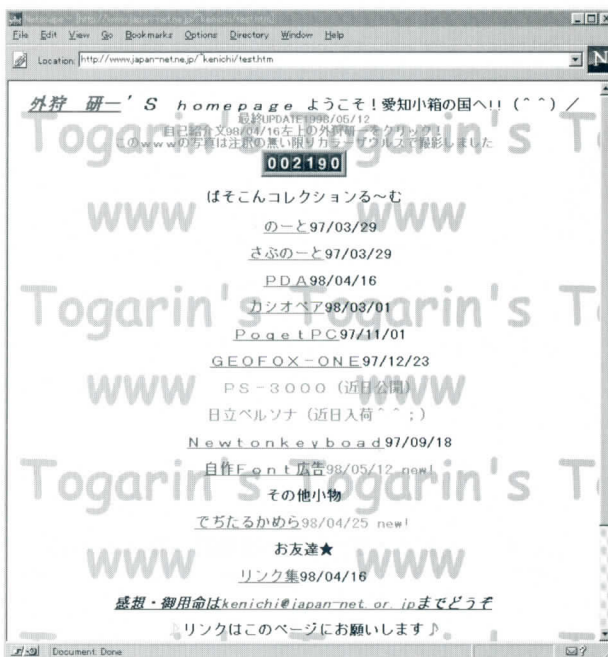
※本稿を執筆するにあたり、永沢雄仁氏には、マシンの購入などで大変お世話になりました。また、とし氏、ゆき氏、外狩研一氏、森田祐二氏には、本誌上でのホームページ紹介を許可していただきました。誌面を借りて御礼申し上げます。



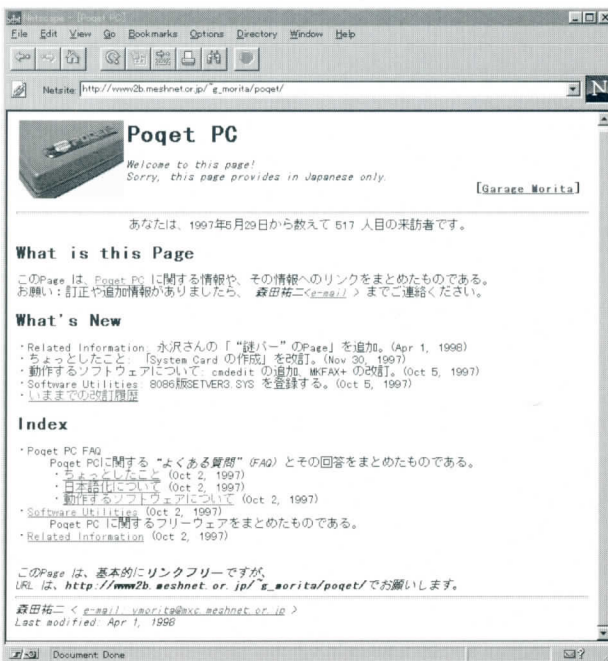
画面2 としのホームページのトップページ



画面3 ゆきの研究室のトップページ



画面4 外狩研一's home pageのトップページ



画面5 Garage Morita Poquet PCのトップページ